

地域・社会貢献活動への積極的な取組み

当社グループは、地域に根ざした企業市民として、地域のため、社会のためにできることを考え、積極的かつ継続的に取り組んでいます。

■ 地域社会への知的貢献

— 「新春経済講演会」の開催 —

最新の金融・経済情報を、企業経営や景気の見通しのご参考にしていただくため、平成20年より「新春経済講演会」を開催しています。平成29年1月に開催した講演では、第10回開催を記念して、恒例の久保田会長による経済講演会に加え、「海外ビジネス成功への条件～アメリカ・ヨーロッパ・東南アジア・中国～」と題した、有識者によるパネルディスカッションも開催しました。



新春経済講演会（久保田会長）



有識者によるパネルディスカッション

■ パネリスト

渡辺 博史 氏（公益財団法人 国際通貨研究所 理事長）
津田 純嗣 氏（株式会社 安川電機 代表取締役会長）
久保田 勇夫（西日本FHI 会長・西日本シティ銀行 会長）

■ コーディネーター

岩本 誠也 氏（株式会社 西日本新聞社 編集局 経済部長）
※役職名などは開催時のものです。

— 小学生向け「金融リテラシー教育」の実施 —

西日本シティ銀行と長崎銀行では、次世代を担う若い世代に「金融リテラシー教育」を継続的に行っています。

西日本シティ銀行では、平成28年8月に、福岡国際センターで開催されたイベント「ママキッズフェスタ in FUKUOKA」のブースにおいて、小学3年生～6年生を対象に、お金の役割や銀行のしくみを学ぶ「第10回お金のがっこう」を開催し、制服を着ての窓口体験や写真撮影、1億円の重さ体験などを行いました。本イベントには2日間で、1万2,000人以上が来場され、西日本シティ銀行のブースは、およそ500名の親子連れで賑わいました。また、小中学生を対象とした福岡市主催のイベント「こどもがつくるまちミニふくおか」で、お金に関するセミナーを開催したほか、営業店においても銀行見学、親の職場体験などを行いました。

また、長崎銀行では、平成28年8月に「ながさきサマースクール～お金のがっこう～」を開催し、小学校5・6年生とその保護者7組が参加されました。小学生には、窓口体験等を通じて銀行のしくみやお金の大切さについて、一方、保護者の皆さまには「金融セミナー」を通じてライフプランニングについて講義を行いました。



お金のがっこう（西日本シティ銀行）



窓口体験（長崎銀行）

— 大学生向け「金融講座」の実施 —

西日本シティ銀行の役職員が講師となり、大学生向けに金融に関する講義を継続的に行っています。平成28年10月～11月には西南学院大学の2・3年生を対象に「実践仕事塾～金融スペシャリスト育成講座～」を5回シリーズで開催し、また、同年11月には、福岡大学の全学年の学生を対象に「金融業界研究セミナー」を3回シリーズで開催しました。また、平成29年6月には、中村学園大学、筑紫女学園大学でも「金融講座」を開催しました。

— 地域への教育、文化等の向上に向けた取組み —

長崎銀行と公益財団法人長崎銀行奨学育成基金は、長崎県内地域における教育、文化等の振興を図ることを目的とし、長崎県出身者の学生に対する奨学助成や、教育文化活動の奨励及び助成を行っています。また、地域文化の向上を目的として、昭和57年から長崎市立図書館や長崎県立図書館へ図書の新着寄贈を行っています。

■ 環境問題への取組み

— 「環境美化活動」への取組み —

当社グループでは、地域の環境美化をお手伝いする清掃ボランティア活動を継続的に実施しています。西日本シティ銀行の各営業店では、店舗の周辺や地元商店街などを清掃、本店では当社グループの職員が、JR博多駅周辺などを地域の皆さまと一緒に清掃しています。また、長崎銀行でも、各営業店周辺のクリーンアップ活動を行っています。



博多地区周辺清掃



長崎市眼鏡橋周辺清掃

— その他の取組み —

西日本シティ銀行は、北九州市が新成長戦略に掲げる「環境産業・自動車関連産業の振興」の一環として取り組む「古着リサイクル事業」（古着を自動車のエンジンルームなどで使う防音剤に再生する取組み）に対し、不要になった制服を同事業に寄付しています。また、店舗の建替えにあたっては、環境配置型機能（太陽光発電システム、LED照明、エコガラス、雨水再利用等）を備えた「エコ店舗」への転換を行っています。

長崎銀行は、平成27年より、毎年2月から5月に「ながさきエコ定期預金」の取扱いを行い、預け入れ総額に応じた寄付金1,830,882円（過去2回の寄付合計金額）を「緑の募金（公益社団法人長崎県緑化推進協会）」に寄付しました。また、本支店の窓口に「緑の募金箱」を設置したほか、行員やその家族が森林整備のボランティアに参加し、長崎県の緑化保全活動に取り組んでいます。

■ 地域との共栄

当社グループは、年末の福博の街を音楽で活気づけることを目的に、平成28年12月、西日本FH設立記念「NCB音楽祭～歓喜と喝采・青い地球は誰のもの～」を開催しました。この音楽祭では、九州交響楽団など地元九州にゆかりのある一流の音楽家を招き、行職員と市民の皆さまとの混声合唱団による「第九」合唱やバレエ・ダンスなど多彩な音楽芸術を繰り広げました。そのほか、各地域で開催される行事やお祭りに積極的に参加し、地域の皆さまとの交流を図っています。



NCB音楽祭



博多どんたく港まつり



長崎ランタンフェスティバル

■ 地域の優れた経営者、アジアとの国際交流に貢献している団体・個人への支援

公益財団法人経営者顕彰財団では、九州・山口地域で中小企業の経営・技術に優れた業績をおさめ、地域経済の発展に貢献された経営者を毎年表彰（経営者賞）しています。昭和48年の開始以来、受賞者は162名にのぼり、受賞者の中には、その後、上場企業に成長された企業の経営者も多く、この賞が地元企業の方々の大きな励みとなっています。

また、公益財団法人西日本国際財団は、国際相互理解の促進のため、九州・沖縄・山口地域でアジアとの国際交流に貢献している団体及び個人を毎年表彰（アジア貢献賞）しています。併せて、未来を担う子どもたちの国際相互理解を育むため、アジア諸国との国際交流を通じて、国際友好親善に貢献している小・中学校、こども団体等の表彰（アジアkids大賞）も行っています。



経営者賞受賞者の皆さま



アジア貢献賞受賞者の皆さま



アジアkids大賞受賞者の皆さま

■ 歴史・文化活動への取組み

西日本シティ銀行が、昭和54年より発行している「博多に強くなろう」、「北九州に強くなろう」は通算99号になり、最新号（99号）では、小倉藩「豪商と大庄屋の日記」を取り上げています。また、平成21年創刊の「九州流」は、新しい視点でふるさとを見直し、地元九州の文化向上に寄与することを目的として発行しています。最新号（5号）では、古代伊都国をテーマにした「絹に訊け 古代日本史の舞台は福岡だった」などを取り上げています。

また、公益財団法人福岡文化財団は、伝統行事として地域で継承されている「神楽」や「神舞」を一般の皆さまに紹介する「日本の神様と舞い踊ろう～地域に根付く神楽と神舞～」を開催したほか、毎月1回、お昼休みのクラシック演奏会「プロムナードコンサート」を開催しており、平成29年3月には375回を数えました。



九州流



北九州に強くなろう



「日本の神様と舞い踊ろう」



プロムナードコンサート

■ TV番組の提供

西日本シティ銀行は、地元TV局と共同でTV番組を制作し、地域の歴史、文化、地元企業の“元気”を地域の皆さまに紹介しています。



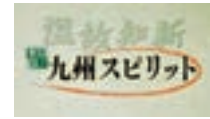
アジアへの扉

毎週日曜日午後5時25分より
TNCテレビ西日本にて放映中
地元九州からアジアビジネスにチャレンジした企業の経緯や特色などを紹介し、グローバル展開のヒントを提供します。これまでの紹介企業は200社を超えています。



志、情熱企業

毎週土曜日午後6時50分より
RKB毎日放送にて放映中
未来に飛躍する地元企業の志と情熱を応援する企業紹介番組です。これまでの紹介企業は400社を超えています。



温故知新「発見！九州スピリット」

毎週土曜日午後10時59分より
KBC九州朝日放送にて放映中
進取の気性にとんだ九州人スピリットをテーマに、以外に知られていない人物、出来事、祭りなどの幅広い分野で「知らなかった九州」を紹介しています。